

3) 大学院学生数（医学系専攻博士課程）（平成24年5月1日現在）

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会				
			男	女	委 員 長：栗原 敏 学長				
1	66	26	17	9	委 員：松藤 千弥 教授 阿部 俊昭 教授				
2	66	33	22	11	近藤 一博 教授 細谷 龍男 教授				
3	66	32	25	7	岡部 正隆 教授 中川 秀己 教授				
4	66	19	16	3	矢永 勝彦 教授				
計	264	110	80	30	オブザーバ：高木 敬三 専務理事 山田 尚 教授				

4) 大学院学生数（看護学専攻修士課程）（平成24年5月1日現在）－21年4月開設

学年	定員	人員	内 訳		大 学 院 委 員 会（修 士 課 程）			
			男	女	委 員 長：櫻井 尚子 専攻長			
1	10	11	3	8	委 員：高島 尚美 教授 藤野 彰子 教授			
2	10	10	1	9	永野みどり 教授 茅島 江子 教授			
計	20	21	4	17				

5) 大学および大学院など

(1) 医 学 科

I. 教学関係

1. 教学委員会

平成24年度医学科教学委員会は国領校選出委員2名および西新橋校選出委員16名の計18名で運営された。委員会は毎月2回定例で開催された。平成24年度の各教学委員の役割分担は以下の通りである。

医学科教学委員会：松藤千弥（教学委員長）、福田国彦（副教学委員長、学生保健指導委員長）、岡野孝（副教学委員長）、中川秀己（学生部長、学生担当委員長）、羽野寛（副学生部長、学生担当副委員長）、福山隆夫（副学生部長、学生担当副委員長、1学年担当）、柳澤裕之（カリキュラム委員長）、福島統（カリキュラム自己点検・評価委員長）、木村直史（試験委員長）、中山和彦（学生相談室委員長）、川村哲也（臨床実習教育委員長）、靱山俊彦（2学年担当）、近藤一博（教育施設委員長、3学年担当）、小川武希（4学年担当）、尾上尚志（5学年担当）、宇都宮一典（6学年担当）、吉村道博、伊坪真理子

2. 平成24年度医学科の進級、卒業者

1年：進級	109人	留年	1人	退学	2人
2年： "	108人	"	9人	退学	2人
3年： "	99人	"	4人		
4年： "	100人	"	7人	退学	1人
5年： "	102人	"	0人		
6年：卒業	90人	"	0人		

以上の結果、平成25年度の学生数は1年－113人、2年－118人、3年－112人、4年－106人、5年－100人、6年－102人、合計651人

3. カリキュラムの改訂と経過

平成23年度より導入した新入生スタートアップ宿泊研修は、学生・教員から大変有意義であったとの意見が多く寄せられたため、継続して本年度も実施した。また、1年生でもボランティア活動への参加が出来るよう、コース「医学総論Ⅰ」に、ユニット「プライマリケア・選択学外臨床実習」を追加した。

3年生コース「研究室配属」には、ユニット「Early research exposure」を新設した。このユニットでは、医学研究の意義や重要性を伝えるとともに、研究の魅力を紹介した。これにより、学生

研究班を継続する学生が増え、研究に興味を持った新たな学生が新規加入した。

4. 教学委員と学生会委員との懇談会

例年同様に平成24年7月9日（月）、平成24年12月10日（月）に開催された。学生会からのおもな報告は、前年度活動報告および会計報告、平成24年度予算（案）、第55回東医体実行委員会報告、平成24年度学生会活動報告、学生による教員・教育評価活動報告、学生委員によるアンケート結果報告等であった。また、設備の改善および講義配布資料の改善に関する要望があった。

5. 第62回～第66回 Faculty Development

平成24年4月以降の開催および修了証を授与された参加者数は以下の通りである。

第62回 Faculty Development

日 時：平成24年6月10日（日）

場 所：西新橋校

テーマ：在宅ケア実習指導者FDワークショップ

修了証受領者（8名、実行委員2名）

第63回 Faculty Development

日 時：平成24年6月30日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：試験問題作成

修了証受領者（38名、実行委員8名）

第64回 Faculty Development

日 時：平成24年10月27日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：クリニカル・クラークシップ指導医養成

修了証受領者（36名、実行委員10名）

第65回 Faculty Development

日 時：平成24年12月1日（土）

場 所：国領校

テーマ：初年次教育に関するワークショップ

修了証受領者（8名、実行委員8名）

第66回 Faculty Development

日 時：平成24年12月8日（土）

場 所：西新橋校

テーマ：OSCE評価者トレーニング

修了証受領者（53名、実行委員14名）

6. 医学教育セミナー

以下のとおり開催された。

第54回医学教育セミナー

日 時：平成24年6月19日（火）

場 所：大学1号館5階講堂

講 演：研究志向学生の育成にむけて－群馬大学における取組－

鯉淵 典之教授（群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学）

参 加：43名

7. 第36～37回カリキュラム特別検討会

以下のとおり開催された。

第36回医学教育セミナー

日 時：平成24年8月7日（火）

場 所：大学1号館3階講堂

テーマ：グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習を目指して
－参加型臨床実習のための系統的教育の構築－

司 会：柳澤 裕之 教授（環境保健医学）

参 加：75名

第37回医学教育セミナー

日 時：平成24年10月17日（水）

場 所：大学1号館6階講堂

テーマ：ITを活用した授業改善」－携帯端末を使用した授業方法の提案

司 会：福島 統 教授（教育センター）

参 加：44名

8. その他の報告事項

1) 新入生オリエンテーション・スタートアップ宿泊研修

平成24年4月6日（金）～8日（日）の期間で新1年生を対象としてオリエンテーションを実施した。6日は、学長より建学の精神と医学生としての心構えについての講話、カリキュラム、健康管理、学生生活の諸注意、学生生活アドバイザーとのグループ討論が行なわれた。7～8日は新入生全員を対象としてスタートアップ宿泊研修をエバーグリーン富士（富士吉田市）にて実施した。参加者は、学生153名（医学科112名・看護学科41名）、教職員40名の合計193名であった。

2) 首都大学東京から学生の受入れ

首都大学東京との教育・研究交流協定書に基づき特別科目等履修生を受入れた。

平成24年度は国領校で前期2名、後期2名の合計4名に単位を認定した。

3) 学祖の墓参および学長、教学委員と学生の懇親会

学長、教学委員、学生代表が平成24年10月13日（土）に青山墓地に眠る学祖高木兼寛先生の墓参をした。また学祖を偲んで千代田区一ツ橋の如水會館で懇親会を開催した。

4) 学生生活アドバイザー

担当教員はそれぞれ4～5名の学生を受持っている。1年生は国領校教員および第三病院勤務教員、2年生は西新橋校基礎講座教員が担当している。また、総括と意見交換のためにアドバイザーが集まって懇談会を開催した。

5) 共用試験システム

「臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム」が例年どおり運用された。OSCEは平成25年1月12日（土）に西新橋校大学1号館8階演習室および7階実習室で、CBTは平成25年2月1日（金）に西新橋校4階講堂で実施された。OSCE受験者数106名、CBT受験者数106名（欠席者1名）であった。CBTの追・再試験対象者は7名であった。

6) 4大学学生教育交流会

本学と昭和大学、東邦大学、東京医科大学の4校が持ち回りで年2回の開催が続けられている。カリキュラム全般および臨床実習、卒業試験、医師国家試験、共用試験等に関する話題を中心に継続的な交流が図られている。4校の協力で展開している戦略的大学連携支援事業は昨年度で終了となったが、今後も継続して本交流会を開催することが確認された。平成24年度の開催日および当番校は以下の通りであった。

第28回 平成24年5月18日（金）昭和大学医学部

第29回 平成24年11月16日（金）東京慈恵会医科大学

7) オープンキャンパス

例年8・9月の各月の土曜日を使って3回開催されていた医学科大学説明会は、8月の金・土曜日の連日と9月の土曜日の午後1時30分から開催した。終了後、大学1号館教育施設の見学と個別相談会を実施した。

1回目：平成24年8月17日（金） 中央講堂 参加者：約750名

2回目：平成24年8月18日（土） 中央講堂 参加者：約600名

3回目：平成24年9月29日（土） 中央講堂 参加者：約350名

8) 教育施設

平成25年度からの看護学科入学定員増（60名）に基づき、看護学科校舎の増改築工事が実施され、平成25年1月末に完成した。24年度は両学科の授業が国領校本館をメインに使用することとなった為、これに対応するために本館トイレの改修を実施した。また、その他の教育施設では、講義室（2A）の机・椅子の入れ替え（60台）、テレビモニターとDVDプレイヤーのセットを講義室（2A）と演習室（3-6）へ設置、医学科女子学生ロッカーの更新を行った。

II. 入学試験

1. 入学試験は、平成25年2月5日（火）に五反田TOCビルで一次試験を、2月15日（金）・16日（土）に本学西新橋校舎で二次試験を実施し、2月18日（月）午後3時に合格発表を行った。志願者数は2,781名、入学者数は112名である。入学者の内訳は下記の通りである。

① 男子 82名、女子 30名

② 現役 53名、1浪 41名、2浪 11名、その他 7名

③ 地域別入学者数

北海道	0名	東北地方	1名
東京および関東地方	99名	甲信越・北陸地方	0名
東海・近畿地方	5名	山陽地方	0名
四国地方	0名	九州地方	5名
その他（在外教育施設等）	2名		

III. 国家試験

1. 医師国家試験

第107回医師国家試験が2月9、10、11日の3日間にわたって施行され、結果が3月19日に発表され本学は、95名中91名合格（95.8%）、新卒は90名中89名合格（98.9%）、既卒は5名中2名合格（40.0%）であった。

国・公・私立大学の全国総合順位では、第10位（前年は第15位）、私立大学だけでは第7位（前年は第6位）であった。他の私立大学の状況は、自治医科大学（99.1% 1位）、日本大学医学部（98.3% 3位）、埼玉医科大学（98.0% 4位）、産業医科大学（98.0% 4位）、順天堂大学医学部（98.0% 4位）、東京医科大学（96.4% 8位）であった。

全国受験者総数は、8,569名、うち合格者7,696名で、合格率は89.8%（前年は90.2%）であった。

IV. 退任記念講義

平成25年1月31日（木）午後2時から大学1号館講堂において開催した。

阿部俊昭 教授（脳神経外科学講座）

演 題：「脳脊髄難病にメスで立ち向かって40年」

森山 寛 教授（耳鼻咽喉科学講座）

演 題：「耳鼻咽喉科学に魅せられて」

羽野 寛 教授（病理学講座）

演 題：「病理形態学を学び、考えたこと」

細谷龍男 教授（内科学講座・腎臓・高血圧内科）

演 題：「夢・挑戦」

臨床医学並びに基礎医学の分野で活躍された阿部、森山、羽野、細谷教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで松藤千弥教学委員長から同じく定年退任される11名の寺坂治教授（自然科学教室生物学研究室）、谷内修教授（眼科学講座）、多田紀夫教授（内科学講座・総合診療内科）、阪本要一教授（内科学講座・糖尿病・代謝・内分泌内科）、鈴木政登教授（臨床検査医学）、横山淳一教授（内科学講座・糖尿病・代謝・内分泌内科）、高木敬三教授（大学）、溝呂木ふみ教授（内科学講座・腫瘍・血液内科）、伊坪眞理子教授（教育センター）、小林直教授（内科学講座・腫瘍・血液内科）、神谷直樹教授（産婦人科学講座）の略歴が紹介され、栗原学長より長

年の大学への貢献に謝辞が述べられ記念品を贈呈した。また、同窓会、父兄会、医学科学生会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される15教授を囲んで退任記念パーティーが「東京プリンスホテル 鳳凰の間」にて開催された。会場には、教職員、同窓、学生など300名を超える参加があり、盛大なうちに会は終了した。

国領校では、平成25年1月19日（土）午後3時から国領校本館講堂において寺坂 治 教授（自然科学教室、生物学研究室） 演題「花粉-その美残しの世界」の最終講義を実施した。終了後、ベラ食堂にて記念パーティーを開催した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員4名をもって構成され、教学委員会は定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下の通りである。

平成24年4月～平成25年3月

教学委員長 濱中 喜代

教学委員 藤野 彰子、高島 尚美

北 素子、嶋澤 順子

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成24年度は、1年生（21期生）42名、2年生（20期生）42名、3年生（19期生）44名、4年生（18期生）41名で新学期をむかえた。
- ② 平成24度オリエンテーションは、4月6日から13日にかけて実施した。カリキュラムや学生生活上の注意などの説明、キャリア支援に関するシンポジウム、健康診断やカルト教団への注意を喚起する講演も平行して行なわれた。また、医学科新入生と合同で、スタートアップ宿泊研修（4月7日、8日、山梨県富士吉田市）や救急蘇生実習に参加した。
- ③ 次の期間に定期試験を実施した。
 - ・前期 平成24年6月30日
平成24年8月24日～8月30日、9月10日～13日
 - ・後期 平成24年1月31日～2月6日
- ④ 平成24年7月28日、20期生の「看護への思いを新たにする式」の一環として、明瀬桃子氏（本学7期生）による講演会が実施され、9月1日に本学関係者、ご父母をお招きし、式典を行った。また、同日保護者会も開催し、有意義な意見交換ができた。
- ⑤ 平成24年10月27日、浅倉美津子氏による薬害肝炎に関する講演会（テーマ「薬害被害者の願い」）を開催した。
- ⑥ 平成24年10月13日には学祖高木兼寛先生の墓参があり、学生代表が参加した。
- ⑦ 平成24年10月28日には解剖諸霊位供養法会が行なわれ、4年生が参加した。
- ⑧ 平成24年11月24日、4年生の看護研究発表会が行なわれた。
- ⑨ 平成25年3月6日、兼担教員、非常勤講師を交え、講師会を開催した。
- ⑩ 平成25年3月8日には医学科と合同の卒業式が西新橋で行なわれ、18期生40名が卒業し、慈大賞と同窓会賞がそれぞれ1名に贈られた。

II. 入学試験

1. 平成25年度入学試験は、平成25年2月10日に一次試験を、2月14日に二次試験を実施した。志願者数は、613名、入学者は60名、その内訳は次のとおりである。

- ① 女子 59名、男子 1名
- ② 現役 56名、1浪 3名、その他 1名
- ③ 地域別入学者数

北海道地方	0名	東北地方	1名
東京および関東地方	49名	信越地方	9名
東海地方	0名	近畿地方	1名
中国・四国地方	0名	九州・沖縄地方	0名

- 平成24年度オープンキャンパスは、平成24年7月14日と15日の2日間実施し、参加者数は785名(前年比+195名)であった。また、本年度は慈恵祭に合わせ、11月3日にミニオープンキャンパスも開催し、参加者は232名であった。
- 受験生の確保を目的に、学外で開催された12箇所の大学ガイダンス等に教員・学事課職員が参加した。
- 高等学校2校へ訪問し、模擬講義を行なった。

Ⅲ. 国家試験

1. 看護師・保健師国家試験

第102回看護師国家試験は、平成25年2月17日(日)に、第99回保健師国家試験は、平成25年2月15日(金)に実施され、その結果が3月25日(月)に発表された。看護師国家試験は18期生40名が受験し、39名合格(97.5%)、保健師は18期生40名が受験し、40名合格(100.0%)であった。

なお、全国の看護師国家試験合格率は88.8%、保健師国家試験合格率は96.0%であった。

Ⅳ. 学生生活アドバイザー

平成21年度より、学生生活を穏やかに豊かなものとするため、学習上や生活上の悩みを気軽に相談できる学生生活アドバイザー制度を導入した。1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が4～5名の学生を担当し、前期・後期それぞれ1回の交流活動の他、適宜自由に活動を行なった。学生アンケートの結果は好評であった。

Ⅴ. 看護学科学生定員増ならびに校舎の増改築

平成25年度より学生定員を40名から60名に増員するため、平成24年6月に学校教育法並びに学校教育法施行令に基づき「大学収容定員増加に係る学則変更」の申請を行い、平成24年7月に保助看護法施行令に基づき「入学定員」、「校舎各室の用途変更並びに面積の変更」について東京都を通じて文部科学省へ申請し、大学収容定員増は9月5日付で、入学定員増は10月31日付で文部科学省から認可が下りた。工事は平成24年3月から始まり、平成24年12月末の引渡し予定であったが、工期が遅れて平成25年1月末の竣工引渡しとなった。

増改築検討委員会を中心に改修工事計画を教職員へ周知し、看護学科の授業・演習等を医学科校舎の教室や演習室を使用しながら、1年間の必要なカリキュラムを無事に教授する事ができた。また、既存備品の仮移転や廃棄物品、新規購入備品の選定・発注・納品等、大変めまぐるしい1年であったが、無事に新年度を迎える事ができた。

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成24年度は以下のとおり実施した。

1) 新研究助成制度の運営

平成22年度の経常費補助金特別補助の大幅な見直しにより、大学院生に対する大学院研究助成金と大学院教員に対する医学研究科研究推進費の助成制度が廃止された。本学では研究の充実化と活性化を堅持するため平成24年度は以下のとおりとなった。

① 大学院研究助成金

・平成24年度採択件数：21件

② 医学研究科研究推進費

・平成24年度採択件数：新規2件、継続3件

2) がん治療医療人コースの創設

高度ながん医療を実施できる国際的な視野をもったがん専門医を養成するため、社会人大学

院生を対象とした「がん治療医療人養成コース」を既存の悪性腫瘍治療学の授業細目に組み入れて、募集を行った。志願者：2名

3) 大学院教員へFaculty Developmentの実施

大学院委員会と倫理委員会共催でFD「臨床研究に関する講習会」を実施した。

日時：平成24年6月12日（火）18：00～ 講師：薄井紀子

5) カリキュラム内容の検証

・社会人大学院生のニーズにより、平成23年度から共通カリキュラムにe-learningシステムを利用した「疫学・臨床研究」の科目を導入し、実施した。

さらに、CITI Japanによるe-learningシステムを「医の倫理」の科目に次年度より導入するため検討を行った。

・大学院共通カリキュラムの特別講義では、新任の教授だけではなく、本学で活躍している若手研究者を講師として講義を行った。

平成25年度の大学院（博士課程）入試は2回実施し、1回目は平成24年10月6日に、2回目は平成25年1月25日に実施した。その結果、42名（うち社会人9名）が合格した。また、他大学院から3年次に2名編入した。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、防衛大学校、慶應大学、九州大学、東京医科歯科大学および国立成育医療研究センター、国立感染症研究所など国内外の様々な大学、研究所でも広く研究を行っている。

2. 看護学専攻修士課程

平成24年度は課程の安定的な運営と効率的運営を努めるべく教学委員会と大学委員会を統合した。その上で、研究科委員会、大学院委員会、FD委員会、大学自己点検・評価委員会、入学試験委員会の有機的連携と運営を図った。

1) 大学院教員の資格制度改定について

大学院教員の資格制度において教員基準の学位・教育実績、実務経験・実績についての明確化を図られ、平成24年10月より看護学科講師2名が大学院兼任教員となった。

2) 大学院教員へFaculty Developmentの実施
大学院・看護学科共催でFD「看護実践能力を高める教育方法 ケースメソッドにおける討議法」を実施した。

日時：平成24年9月15日（土）12：00～

講師：竹内伸一特任准教授（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科）

3) 研究助成制度について

院生に対する教育研究助成は、大学院研究助成制度による使用分と研究指導費による助成により、活動の範囲や内容を高めることを図った。大学院研究助成制度による研究助成採択者は9名。

4) 入学試験は、募集を平成24年8月6日（月）～9月7日（金）間に行い、出願資格認定試験を平成24年9月15日（土）、一般入学試験を平成24年9月22日（土）に実施した。その結果、10名の応募があり、9名が合格した。

5) 平成22年4月入学生1名と平成23年4月入学生8名の合計9名の修了式を平成25年3月22日（金）に挙行した。

6) 院生による授業評価については、講義終了後に科目責任者と院生が講義内容について話し合いを持つ方式に改め2年目を迎え、前期評価をもって後期に講義方法の変更、次年度担当教員の変更等への評価をもつての改善が速やかにできた。

7) 専門看護師教育課程を受講して本年に4名が専門看護師認定試験を受験し、4名ともに合格した。（分野は急性・重症患者看護分野で2名、がん看護分野で2名）